



## 目次

- ・これまでのゲム村における医療支援活動を振り返って 副理事長 内海 眞
- ・聖テレサ・アサンテナゴヤ診療所医療キャンプレポート エリアス・アケチ
- ・イギリス大学院留学 アサンテ ナゴヤ事務局 加藤万理
- ・KELKAMARAMI コミュニティ自立支援活動レポート 鈴木佳奈

## これまでのゲム村における医療支援活動を振り返って

副理事長 内海 眞

我々アサンテナゴヤのメンバーの目をゲム村に向けて下さったのは、ケニアをこよなく愛していた薬剤師の故讃岐珠緒さんでした。2008年秋に彼女はアサンテナゴヤを訪れ、彼女のケニアの友人であるメリーさんの故郷（ゲム村）でHIV感染症/AIDSが広がっているため医療支援をして欲しい、と懇願されたのです。これが出発点となりました。

翌年春に調査旅行に出かけ、翌々年から現地で無料医療キャンプを開始しました。キャンプではHIV検査を実施したのですが、最初の年の陽性率は23%と極めて高い値でした。数年間はこの陽性率は15%を下ることがなかったのですが、その後次第に減少し、ついには1.6%にまで低下しました。この陽性率の劇的減少は、メリーさんやその父親のエリアス牧師がリーダーである現地NGOのRUNELDによる地道な啓発活動が次第に実を結び始めたのに加え、HIV陽性の人々が政府から配布される無料の抗HIV薬を服用できるようになったからです。抗HIV薬による治療によって血中のウイルス量が検出限界以下に抑えられると、ウイルスの伝搬は限りなく0になるからです。すなわち、治療は予防につながるのです。



ゲム村は交通機関もなく、また電気もガスも水道もない隔絶された村でした。病人が出ても、車で1時間以上かかる遠い町まで搬送しなければなりません、その搬送手段も持たなかったのです。そこで、まず一宮中ライオンズクラブの全面的支援の下にトヨタ・ハイエースの中古車をゲム村に送りました。次いでテントを購入し、木陰での医療キャンプからテントでの診療に移行し、ついには皆様の寄付金によりコミュニティーセンターを建設し、その中での診療へと診療環境を向上させました。また、センターは啓発の拠点としても多くの機能を発揮いたしました。さらに、クリーンな水を供給できる深井戸を掘削するとともに電気も引いて、センターを診療所へと格上げしたのです。

センターは、St. Teresa Asante Nagoya Health Centre と命名され

ました。現在では医師、看護師、検査技師、薬剤師により、外来診療のみならず入院診療も可能となっております。昨年には、再度一宮中ライオンズクラブのご尽力により、一宮市から払い下げられた救急車をゲム村に送ることができ、現在ではこの救急車による往診や訪問診療が可能となっております。



2020年から今年までの3年間は新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、ゲム村に出かけて無料医療キャンプを実施することが出来ませんでした。現地では医療スタッフとボランティアによる無料医療キャンプが実施されたのです。もちろん、それに必要な薬代や検査キット代等はアサンテナゴヤから送金したのですが、本号のレポートにもあるように、4日間で1000人を超す人々がゲム村の診療所を訪れたのです。診療所は確実に現地に根付き始めたと考えられます。この根付きとHIV陽性率の劇的減少の2点は、我々の活動の大きな成果と考えてよいのではないのでしょうか。これまでの皆様の温かいご支援にあらためて感謝申し上げる次第です。

アサンテナゴヤの資金も徐々に減少し、あと2~3年で資金が枯渇する可能性が大です。年間300万円から400万円の支援が必要だからです。ゲム村の診療所も、例えば保険診療をも導入するなど自立を目指しておりますが、完全な自立にはまだ時間が必要と推測されます。今後どうすべきか、会員の皆様のご意見、アイデアをお寄せいただければ幸いです。

## 聖テレサ・アサンテナゴヤ診療所 無料医療キャンプレポート 2022

RUNELD エリアス・アケチ

医療キャンプは、理事会メンバー、スタッフ、地域保健ボランティア、デイケアメンバーによって企画され、2022年9月19日から22日の4日間、午前8時から午後5時まで実施されました。

初日の天気は、まるで天国の扉がまさに開こうとしているかのようにとても陰鬱で、「どうか医療キャンプに雨を降らせないでください。」と祈っていました。



私たちのコミュニティでは、高血圧や糖尿病などの非感染性疾患の有病率は急速に増加しています。これに対応して医療キャンプでは、よく見られる疾患に対する予防および治療を提供することを特に目指すこととしました。キャンプの医療スタッフは准医師7人、検査技師2人、薬剤師1人、地域保健ボランティア14人に1人の受付看護師で構成されました。このメンバーで、歯科、耳鼻咽喉科、眼科、産婦人科の診療、血圧、血糖値、子宮頸がん・乳がんの検査、HIV/AIDSの検査とカウンセリング、予防接種から家族計画、栄養指導に至る様々な医療サービスを提供しました。

受付と診療は診療所で用意したテントで行いました。8台のテーブルを用意し、1台は受付、残りの7台を臨床医が使いました。患者さん用に5台のベンチを並べました。



来場者数は男性、女性、子ども達を合わせて 1022 名で、62 名に対して家族計画指導 (Family Planning : FP) を行いました。コミュニティとうまく関わっているため、私たちは的確に指導をすることができます。聖テレサ・アサンテナゴヤ診療所は村の人々の「お世話と奉仕に一生懸命」です。

キャンプで多く見られた疾患は、胃腸炎、マラリア、肺炎、上気道感染症、胃炎、消化性潰瘍、腸チフス、栄養失調、性感染症、関節炎、皮膚炎、耳の感染症、歯の問題でした。

日付	患者数	FP	HIV/検査		予防接種		COVID 19
			陽性	陰性	15歳未満	子宮頸がん	
19/9/22	219	9	2	11	32	10	112
20/9/22	251	12	3	23	41	7	141
21/9/22	269	19	1	26	29	21	97
22/9/22	283	22	1	30	18	7	44
計	1022	62	7	90	12	45	394

### § 医療キャンプの成果

- 全ての患者に対しての身体検査。
- 高血圧の患者にはライフスタイルを変え、状態管理の必要性を伝え、栄養指導と服薬/健康教育を実施。
- 歯科検診と歯磨き指導。
- 大多数へのHIV/AIDS検査とカウンセリング。
- 国立病院保険基金への登録に成功。
- プライマリヘルスケアと母子保健/家族計画に関するトレーニング。



医療は、低所得者の大多数にとって深刻な問題です。医療費は人々にとって脅威であり、そのため病気に罹ったら、たとえ治療可能な病気であっても黙って苦しみに耐えるしかありません。けれども聖テレサ・アサンテナゴヤ診療所は、支援して下さる皆様のご寄付のおかげで毎年無料医療キャンプを実施し、地域社会を支援しています。

医師の診療を受けることができた人たちの満足そうな顔を見ることは、まるで奇跡のようでした。彼らは明らかにキャンプでの診療の機会の貴重さをよくわかっていました。それは、聖テレサ、支援者の皆様、医療スタッフが患者/ゲム村の人々のために一層の努力をした結果であり、素晴らしく価値のあるものでした。

医療キャンプが終わった時の、医療従事者と地域保健ボランティアの疲れ果ててはいても笑みを浮かべた顔が忘れられません。しばしば医療を諦めざるを得ない人々を助けるという、大変に得難い機会に恵まれたことの幸せを私たちと同じように、彼らも感じたことがよくわかりました。

アメリカの公民権運動活動家マヤ・アンジェロウの名言「人はあなたが言ったこと、あなたがしたことは忘れる。でも、あなたに対してどう感じたかは絶対に忘れない。」最後にこの言葉を皆様に贈ります。

### § コミュニティの診療所への要望

- ・耳鼻咽喉科 ・小児科 ・皮膚科 ・歯科 ・眼科
- ・産婦人科 ・理学療法士と鍼灸師

### § 診療所理事会からの要望

- ・子供、成人女性、および感染症患者の分離を可能にする病棟の建設。
- ・レントゲン、麻酔、手術の設備を供えることで、特に帝王切開の際に聖テレサで対応可能になる。
- ・次回の無料医療キャンプにより多くの医療関係者に協力してもらう。
- ・様々な健康分野におけるスタッフの能力開発支援。
- ・月1回の往診への支援[家族計画指導、より脆弱なグループへの予防接種と無料治療、HIV/AIDS関連の合併症、子宮頸がんスクリーニング、COVID 19 ワクチン接種]。
- ・妊産婦の症例をより多く聖テレサで対応可能にするために手術設備が必要。妊娠関連の死亡数の減少に繋がる。



### \* 聖テレサ・アサンテナゴヤの活動によるコミュニティへの貢献

#### § コミュニティ内での人々において

- ・ HIV 検査とカウンセリング、早期治療が増加した。
- ・ 人々の多くが感染リスクの高い性行動を避けることができている。
- ・ 避妊具配布用のディスペンサー内に避妊具が常に充填されている。
- ・ 性的なパートナーの人数を減らすことができている。
- ・ 性感染症の検査をしている。
- ・ HIV の暴露前予防(Pre-exposure Prophylaxis: PrEP) についての相談ができている。

#### § 地域社会における家族計画指導 (Family Planning : FP) の有効性

避妊には様々な有効な方法があり、年齢、ライフステージ、性格に応じて適した方法は異なります。FP スタッフはそれをよく理解しており、多くのクライアントが私たちに信頼しています。避妊薬を使えない人の避妊に、コンドームとペッサリー（子宮内避妊器具）を勧めています。避妊と同時に性感染症を予防できるため、それらは特に効果的であると考えています。私たちの施設からの FP 介入の結果、コミュニティでの妊娠は大きく減少しました。

#### § ワクチンの効果

私たちの地域においては、ワクチン接種と正比例して伝染病の減少が見られ、ワクチンの有効性を示しています。

ワクチン接種を受けた人と受けていない人の病気のリスクを測定することによってワクチンの有効性を判断しており、ワクチン接種を受けていない人は受けた人よりも伝染病に罹ることが多いことがわかりました。

**皆様に感謝いたします。アサンテ ナゴヤの皆様、神の祝福がありますように。**

## イギリス大学院留学

アサンテ ナゴヤ事務局 加藤万理

私は2021年9月にイギリスへと留学し、1年間リバプール熱帯医学校にて、公衆衛生学について学びました。イギリスの公衆衛生学は主に発展途上国での医療支援と衛生環境向上、難民や貧困に苦しむ人々の人道支援を目的とし、これらの知識をもつ人員育成を行っています。途上国での活動経験豊富な教授陣の授業はとても刺激的で面白いものでしたし、アフリカ地域や中東地域、アジア地域など多様な国の留学生とともに多くの楽しい時間を過ごすことができました。イスラム教信者の友人たちによるラ



マダン（1ヶ月間日の出から日没まで絶食絶飲する行事）終了後にパーティを行ったり、カナダ出身の国境なき医師団で活動していた看護師の友人主催によるポッドキャストクラブ（という名のパブ飲み会やホームパーティ）で、人道支援が抱える問題について各国の事情を踏まえて多方面から意見交換会を行ったりしていました。コロナ禍の最中、満足な留学ができるのかは不安でしたが、授業もほぼ対面で行うことができ、オンライン留学ではなく現地での留学を選んでよかったと思います。

そんな楽しい留学でしたが、いくつか私が衝撃を受けたエピソードがあります。発展途上国に対する各先進国の医療支援費の比についてグループディスカッションをした際に、ナイジェリア出身の女医の友人がHIV/AIDSの支援費が全体の約7割を占めることについて、「なぜHIVは治療が確立して死ぬ病気ではないのに、まだこんなにも費用を占めるのか。他にも重大な病気はたくさんあるからそちらへ費用を回すべきだ」と話していたことでした。これを聞いた時に、発展途上国のニーズと先進国の支援の相違を初めて実感しました。HIVはマラリア、結核と同様に根絶すべき3大疾患として公衆衛生問題では大きく取り上げられており、途上国では女性・子供が多く感染し、児童売春などの負の連鎖により貧困に関与することから、先進国からすると支援費用を多くの方面から募るためには名目としてとてもインパクトのある疾患です。その一方、途上国出身の医療者の間ではHIVばかりが支援され、支援すべき他の疾患に費用が足りないという苦悩を抱えていることがわかりました。多くの支援は先進国の価値観をもとに形成されており、その支援内容は先進国の財団が興味を持つ内容、いわば快く出費してくれる内容に偏りがちであることに気付かされました。

もうひとつ留学中に考えさせられたのは、途上国の人材流出についてです。フィリピン出身の小児科医の友人は「フィリピンで医者をしているより、イギリスのレストランでバイトをしている方が稼げる」と話していました。彼はイギリスで医師免許を互換し、イギリスに永住することを希望していました。また、パレスチナ出身で紛争を経験した友人は「頭上を飛行機が通ると未だに怖い」と話し、彼女もイギリス永住を希望していました。アフリカ地域出身



の医師の友人6人中5人も同様でした。彼らのような優秀な人材はきっとイギリス国内でも需要があるのだと思います。途上国の医療環境の改善において、先進国の介入よりもその地域の人々が介入することは、地域の文化を知っていること、コミュニケーションが取りやすく影響力があることで、大きな意味と力を持つため、先進国側からは自国の発展に貢献してほしいと考えます。その一方、自国の人材を留めておくには酷な環境であり、彼らが雇用で満足できる平和な国で暮らしたいと考えることは当然のことだと思います。このようなシンプルには解決できない問題とその実情を各国の友人と語ることができたことも、私の留学において途上国支援の形を考えるにあたり、とても意味のある時間だったと思います。

今回の留学にあたり、アサンテナゴヤ関係者の皆様、そして私が関わった多くの人に背中を押して頂き、このような素晴らしい経験ができましたことに心より感謝申し上げます。そして私が留学中に会った、途上国の医療・公衆衛生改善と人道支援を志す友人たちの今後の活動が実り多いものであること、いつか世界のどこかでお互いに成長した姿で、また今後の課題について語ることができることを心より願っています。

## KELKAMARAMI コミュニティ自立支援活動レポート

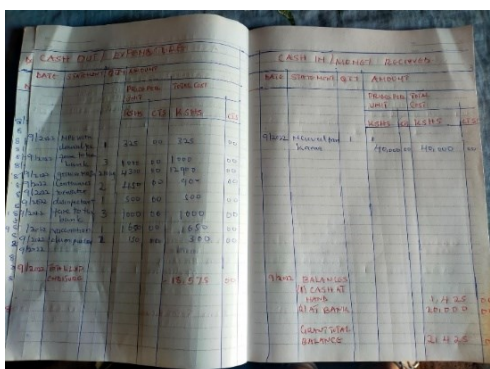
鈴木佳奈

いつもお世話になっております、長崎大学に所属しております鈴木です。



わたしは現在、WHOの指定する「顧みられない熱帯病」の一つであるスナノミ症という外部寄生虫症に対して保健省と共に取り組んでおります。ケニアのホマベイ郡では約1%の人口が罹患しており、子どもや高齢者が多いです。この病は死に直接至ることが少なく、地域も限定されていることから、ドナー国の関心だけでなく同地域の保健局からも対策がされてこなかったのが現状です。実際には罹患者のほとんどは貧しい環境にある人々で、病変の痛み/痒みや患部の変形による見た目の悪さから、歩行困難や社会的孤立へとつながるケースが多く、問題となっています。予防・治療できる病であることを地域や保健省に伝え、他の病と同じく対応してもらえるよう草の根で取り組んでいます。

そしていつも Kelkamarami を温かく見守っていただきありがとうございます。かれこれわたしが Kelkamarami HIV 陽性者自助グループ（呼称：地域のお母さんたち）と出会ってから6年が経ちました。皆様とエリアス牧師の歩んできた歴史に比べたら、まだまだ短いでしょうか。



想っていることをお互いに何でも言うことのできる仲となり、度々ぶつかり合い、度々褒めあい励ましあい、直接顔を合わせられた時には一緒にほっとして、そんな関係性が続けられています。

今までは皆さまにご寄付いただいている資金を、必要な時に私から1回1回渡していたのですが（1000円単位）、先



日 4 万円ほどを一度に渡し、この中でやり繰りするよう伝えました。どのようなことに優先して使用するのか様子を伺っていましたら、なんとまずは勉強会（養鶏に関する講師の方をお呼びする費用）に使用したと聞きました。物資の購入ではなく大変驚きました、と同時にグループの成長を感じ、胸が熱くなりました。

今まで学校をご支援いただきましたが、今後はお母さんたちの意向で、地域で特に支援を必要としている子どもたちを数人選び、その個人を支援していくことになりました。子どもたちの生活や学費の援助を継続しておこなっていけるよう、養鶏ビジネスも軌道に乗っていかればと思います。

今のグループは力強くなりました。平均年齢 54 歳のお母さん・お祖母ちゃんたちの応援を引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

(主要メンバー 8 人のご紹介)



みんなが信頼を置くパワフルな  
会長 Mary さん



英語ができる頼もしい秘書  
Grace さん



地域の発展を願う努力家の会計  
係 Jocinta さん



小さなこともビジネスに！養鶏  
管理者 Holda さん



周囲をいつも穏やかにする副会  
長 Dorcas さん



最年少、自分の想いをしっかりもつ  
秘書補佐 Beatrice さん



ボランティア精神あふれる新メ  
ンバー Pamela さん



皆のカウンセリング担当、最年  
長メンバー Silpa さん

\*会費、賛助会費、協賛及び寄付金をいただいた企業・団体および個人(敬称略)  
(2022年4月1日から2022年10月31日までにご支援をいただいた皆様です)

坂光信夫、宮本信代、市野健二、榊原薫、石居尚子、石川佳子、尼子道子、内海みどり、乾朋子、竹内仁美、内海眞、森下理香、藤村彰吾、川田初美、小田賢一、小田キミエ、石田義人、野々山洋子、遠藤清美、山本由紀、杉山恵美子、石黒博人、藤田麻里子、赤澤碩夫、片桐初男、(有)ヤマ土地、平野雪夫、杉江修治、土屋久仁子、石丸佳代子、平野吉廣、宮城島拓人、土屋二郎、山田洋平、児山俊浩、丹羽咲江、眞崎満代、伊藤絹代、光川千鶴子、美濃和茂、石井圭子、大下博、坂田侑平、渋谷伸子、鳥居富美、玉木奈美枝、愛知医大寄付講座、野村浩子、日比野福代、日比野丈夫、日比野公治、日比野祐士、河津芳子、花木達美、服部将也、手塚和子、手取屋瑞子、中野朋儀、小島美恵子、知光祐希、住友正武、住友光子、杉本みな子、安藤かな子、藪下彩子、村上優、岡田智子、杉崎卓也、佐藤陽太、堀井城一朗、白野倫徳、井上由記恵、片岡紀子、青木孝夫、百合草宮子、鶴飼利子、森本明子、宗賀浩子、村瀬幸子、石川博司、石川美里、平澤崇行、伊神紀久子、森田諒、榊原純夫、山内礼子、ユニバーサル基金、加藤万理、垣越咲穂、AOI 募金、岸田義昭

\*今後ともご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。